

都市計画道路競馬場高丸線整備事業工事説明会

要 旨

■日 時；令和6年(2024年)10月6日(日) 15:00~16:00

■場 所；仁川小学校 視聴覚室

■参加者；75名

■説明会概要；

市から配布資料及びスライドを使用し、事業全体の概要、今回施工する工事内容および通行規制について説明を行いました。

主な質問や、回答などは以下のとおりです。

■意見交換・質疑応答の要旨

<凡例>

●；参加者のご意見 ○；市の説明

●用地交渉の進捗状況はどうなっているのか

○契約ベースで99%完了済。

契約済ではありますが、引越時期等の事情で全て更地になっているわけではありません。

●良元街道（旧県道と（都）競馬場高丸線との交差部には信号機は設置されるか

○事業当初より信号機の設置は市から要望していますが、県道生瀬門戸荘線（以下、「県道」という）との交差部にも信号機が必要になるため、信号機の設置箇所が多いため、警察からは非常に厳しいと話を受けています。

●県道との交差部において自転車で県道を横断する際に、どのように横断すれば良いのか

○警察からは原付の2段階右折にて横断するような案や交差部の前後で横断する案等を提示されていますが、現実的に厳しいところもあるので、今後調整していきたいと思えます。

●更地になっている箇所（鹿塩工区）を工事用道路として利用すれば、工事用車両が旧県道を利用する台数が減るのではないかと

○買収した土地を更地にしていただく工程を市ではコントロールできないため、現状だけ見ると更地の箇所を通れるような状況になっています。

ただ、旧県道を下げる工事と更地の箇所をほぼ同時に（別工事で）行うため、更地の箇所を整備して工事を行っている間、費用や工程的にも支障が出てくるため、申し訳ございませんが工事用車両は既存の道路からの利用を考えています。

●完成した工区は、工区毎に順次供用されるのか。地元で早く利益を還元する意味でも部分的でも供用してもらいたい。

○鹿塩工区については、令和7年3月末（予定）に工事が完成するため、県道から旧県道までの区間は工事完成後に供用する予定にしています。

仁川宮西町工区については、今津線が立体交差化できないと小学校前から旧県道が繋がらないため、立体交差化が完了してからの供用になります。

●今津線の立体交差部で郵便局から弁天池に抜ける市道はどのような形になるのか

○市道部は今津線の下と同様にボックスカルバートを設置するため、(都) 競馬場高丸線がボックスカルバートの中を通り、市道はボックスカルバートの上側を通る形になります。

現在の市道の勾配や高さが変わり、枝道の擦り付けも出てきます。

●以前の通行止めでは、今回と同様に阪急バスが迂回し減便となった。その際、午前中に通院したくてもできないときがあったため、阪急バスに増便するように依頼してもらいたい。

○ご不便をおかけしておりまして申し訳ございません。

阪急バスと調整した中で増便は厳しいと聞いていますが、再度本日のお話を伝えて協議するようにします。

※本事業の実施については、皆様のご意見をお伺いしたいと思っており、ご意見等がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

皆様のご理解、ご協力の程よろしく願いいたします。

【問い合わせ先】

宝塚市 都市安全部 道路整備課

TEL 0797-77-2098、FAX 0797-77-9119

E-Mail m-takarazuka0088@city.takarazuka.lg.jp